

2026.7 No.31
更生保護ひた

< 編集発行 >
日田保護区保護司会広報部会
< 責任者 >
掛 橋 泰 定
< 印 刷 >
(有)中央印刷



日田市遊船 日田市観光課提供

保護司会の皆様には、日頃より地域に寄り添い、更正保護活動にご尽力いただいておりますことに、心より敬意と感謝を申し上げます。

近年、社会を取り巻く環境は大きく変化しています。情報化の進展や生活様式の多様化により、人と人とのつながりが以前よりも見えにくくなっていると言われています。また、孤立や不安を抱える方も少なくなく、地域全体で支え合うことの大切さが改めて感じられています。

このような時代だからこそ、規律を守ることの意味はより重要になっています。規律とは、単に決まりを守ることだけでなく、自身自身を大切にしながら、周りの人への思いやりを持つて行動することでもあります。その積み重ねが信頼を生み、安心して暮らせる地域づくりにつながっていきます。また、立ち直りを目指す方々にとっては、こうした規律ある生活を築いていくことが大きな一歩となります。その歩みを支えるのが、人と人との温かな関わりです。

温かく寄り添い、対話を重ねながら支えておられることは、まさに地域社会の支えそのものであります。その地道な活動が、再び社会の中で歩み出す力につながっているものと感じております。

警察といいたしましても、市民の皆様にとって身近で頼りになる存在であり続けたいと考えております。日々のパトロール活動をはじめ、地域での声かけや防犯指導、各種相談への対応などを通じて、地域の安全と安心を支えております。また、地域の行事や学校との連携などを通じ、顔の見える関係づくりにも努めているところであります。

こうした取り組みを通じて、地域の皆様とともに支え合う関係を築いていくことが、これからますます重要になると考えております。今後とも、保護司の皆様をはじめとする地域の方々との連携を大切にし、支え合いの輪をさらに広げていきたいと考えております。

結びに、保護司会の皆様のますますのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。



日田警察署署長
橋 本 寛 之

ともに支え合う関係を

第76回「社会を明るくする運動」に市民の皆様方の御協力を!

7月は「社会を明るくする運動」の強調月間です。本年は7月4日(土)にパトリアで第76回「社会を明るくする運動」日田地区推進大会が行われます。

犯罪や非行から立ち直ろうとする人を受け入れ、支えるためには、あなたの“チカラ”を必要としています。期間中、市役所入口にのぼり旗を立ててリーフレットを用意しております。ご協力をお願いします。



日田地区更生保護女性会役員名簿

役 職	氏 名
会 長	櫛 原 満知子
副会長	武 内 サナエ
事務局	横 尾 真 理
会 計	梶 原 幸 枝
部 長	吉 田 みえ子
部 長	北 川 フ ミ
監 事	高 瀬 美紀子
監 事	山 田 鈴 子

日田地区BBS会会員名簿

役 職	氏 名
県会長	宇 野 吉 信
会 長	宮 崎 隆 生
事務局	平 川 祐 治
会 員	高 倉 弘 史
会 員	梶 原 博 志
会 員	草 野 淳 次
会 員	大 東 賢 児
会 員	宮 崎 勇
会 員	河 野 智 之
会 員	江 田 礼

日田地区協力雇用主会名簿

会 社 名	代表者名
三隈工業株式会社	宮 崎 正 行
河津建設株式会社	河 津 龍 治
玉川運輸有限会社	石 松 寛 善
青柳インテリア株式会社	青 柳 有 治
有限会社坂本建設	坂 本 高 晴
株式会社九州体育施設	嶋 宮 英 敏
有限会社小笠原組	小笠原 章

会 社 名	代表者名
株式会社谷組	大 関 晋太郎
株式会社佐藤組	佐 藤 哲 弥
高倉総業	高 倉 廣 治



日田保護区保護司会名簿

委嘱順(三役除く)
令和8年6月1日現在

会 長	掛 橋 泰 定	咸 宜
副会長	原 田 富 雄	大 鶴
副会長	川 津 憲 司	中津江
事務局長	佐 藤 敏 孝	桂 林
後 藤 功 一	隈庄手	
石 井 隆 弘	竹 田	
橋 本 敦	田 島	
羽 野 皇	天 瀬	
後 藤 文 博	田 島	
小 山 一 善	東有田	
伊 藤 尚 樹	光 岡	
山 田 博 行	高 瀬	
長谷部 アケミ	前津江	
坂 本 高 晴	桂 林	
木 下 清 秀	光 岡	
横 田 秀 喜	大 山	
藤 野 美佐子	竹 田	
麻 生 幸 利	田 島	

冷 川 善 幸	三 花	
江 田 信 敏	田 島	
壁 村 雄 吉	上津江	
藤 本 和 枝	高 瀬	
前 澤 茂 樹	田 島	
戸 松 真由美	咸 宜	
佐 藤 一 雄	三 芳	
江 田 陽 一	三 芳	
吉 野 克 己	隈庄手	
吉 田 房 子	前津江	
武 久 晋 介	朝 日	
宮 崎 洋	咸 宜	
檜 原 康 子	隈庄手	
森 部 貴 子	西有田	
原 田 勝 子	西有田	
宮 崎 隆 生	咸 宜	
長谷部 徹	中津江	
岡 崎 浩 晴	三 花	
佐 藤 篤	前津江	
巨 山 宏 仁	天 瀬	
浅 海 和 希	三 芳	

編集後記(チヨット一言)

今回は、「遊船(ゆうせん)」を取り上げました。

三隈川に浮かぶ屋形船は「遊船」とも呼ばれています。夏は舟上に涼を求め、秋には舟上からの名物を眺めることもできます。また、遊船から「鵜飼(うかい)」を見ることが出来ます。

「鵜飼」はウミウを使って鮎などの川魚を獲る漁のことです。「鵜飼」の始まりは今から四百年ほど前です。

豊臣秀吉の家臣が日田を治めた時に、美濃(今の岐阜県)長良川から4名の鵜匠を連れてきたことから始まったと伝えられています。かつて、江戸時代には代官も楽しんだといわれる、日田の風物詩です。

あいさつを通して生まれた 人とのつながり

日田市立光岡小学校 五年 伊東 咲友菜

「社会を明るくする運動」と聞いて、私は地域や学校でのあいさつのつながりについて考えました。なぜなら、私はあいさつによってつながった人に、二度助けてもらったことがあるからです。

一度目は、二年生のころ、大雨の日に一人で下校していた時です。いつもは友達と一緒に下校していましたが、その日は友達が早く下校してしまい、一人でした。私が、一人で下校しているので危ないと思ったのか、近所の中学生の人が、「大丈夫？」

と声をかけてくれました。その言葉で私は、とても安心しました。

二度目は、一年生のころ、下校中に走っていて、転んでしまった時です。転んだ音に気が付いて、近所の方が家から出てきてくれました。転んだ私を起こしてくれ、きずの手当でもしてくれました。

私は、これらの二度の体験を通して、やはりあいさつは大切だと思いました。なぜなら、困った時に声をかけてくれた地域の方々は、あいさ

つによってつながった人達だったからです。

これからもあいさつを続け、誰かが泣いていた、一人で大丈夫かなと思ったりしたときは、勇気をもって声をかけてあげ、助けてあげられるようになりたいです。

私は、あいさつには三つのチカラがあると思います。

一つ目は「明るい気持ちになる」チカラです。あいさつをしてもらった人は、嬉しい気持ちになります。そうすると、少しずつ心が落ち着いていき、気持ち明るくなります。

二つ目は「相手を知るキッカケになる」チカラです。私は地域の方々といきさつを通して知り合い、その方々から助けてもらえました。このように、あいさつによってつながった人たちはとても大切です。

三つ目は「相手の気持ち・様子がわかる」チカラです。あいさつをすることによって、相手の声や表情でそのときの気分がわかります。あまり元気がなさそうだったら、何か困りや悩みがあるかもしれないと気

づくことができます。そうすることで、相談に乗ることができます。だからあいさつは、相手の心を知る「キッカケ」になります。

このあいさつがもつ三つのチカラは、悪いことをする人や、悪いことをくりかえしそうになっていた人たちの考えを改め、犯罪が減るキッカケになると思います。

私はこれから、あいさつをまわりの人達に広めていきたいです。そのために、まずはクラスで自分からあいさつをして、クラスみんなに広めます。そしてあいさつの輪が学年、全校へと広がり、最後は、地域の方々に広げていきたいなと思います。そのために、恥ずかしがらずにあいさつをすることや、自分からすんで目を見てあいさつすることをがんばります。

この作文を書くことを通して、改めて、あいさつは、人と人をつなぐことが出来るチカラがあるということがわかりました。

学校の友達だけでなく、地域の方にも引き続きあいさつをしていきたいです。あいさつが、学校から地域、そして社会へと広まっていき、社会が明るくなるいいなと思います。

BBS活動について

BBSとは、Big Brothers and Sisters Movementの略称です。

その名のとおり、「兄」「姉」のような身近な存在として、少年たちと一緒に遊んだり、悩みの相談にのったりしながら、同じ目の高さで接し、少年たちが健やかに成長することをお手伝いしている青年ボランティア団体です。

日田地区BBS会 会長 宮崎 隆生

コロナ禍では、思うような活動ができない時期が続きましたが、少しずつ会員同士の交流や地域とのつながりが戻ってきました。

日田地区BBS会では、現在10名の会員が活動しています。会員には、福祉や医療の仕事に携わる者も多く、それぞれが仕事と両立しながら、できる形で活動を続けています。

令和4年度には、日田地区が中心となり、第67回九州地方BBS大分大会をオンラインで開催しました。九州各地から約40名の会員が参加し、コロナ禍の中でも活動続ける仲間同士が交流を深める機会となりました。また、九州地方更生保護委員長や九州連盟会長から、会員への労いと激励のメッセージもいただき、大変励みとなりました。

その後も、感染状況を見ながら活動を続け、令和7年度には県内会員の交流会を開催し、各地区で工夫している活動について意見交換を行いました。また、保護司会の先生方とともに、社会を明るくする運動や地域での

社会貢献活動にも参加しました。さらに、令和8年2月には、長年休会していた大分地区BBS会が再発足し、新しい会員との交流も始まっています。少しずつではありますが、県内のBBS活動にも新たな広がりが生まれています。

今年度は、他団体とも連携しながら、子ども食堂に関わる活動や、日本で働く外国人技能実習生の方々と一緒に日本文化を体験する企画なども進めています。地域の中で、人と人がつながるきっかけづくりを大切にしながら活動を行っています。

今後も、青少年との交流活動やボランティア活動、レクリエーション活動、社会参加活動を通じて、非行防止と健全育成につながる活動に努めてまいります。

引き続き、保護司会、更生保護女性会、地域の皆さま方のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。



◀ 第67回九州地方BBS大分大会



ひばり〜ヒルズでの社会貢献活動 ▶



▲ BBS会員募集チラシ

令和7年度 第75回「社会を明るくする運動」作文コンテスト 応募者一覧表

学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名
光岡小学校	5	財津 凜心	東部中学校	1	松岡 綾乃	〃	1	平野 功汰
〃	5	吉弘 侑史	〃	1	坂本 一龍	〃	2	桑鶴 莉々
〃	5	梶原 涼世	〃	1	河津 月花	〃	2	山本 颯人
〃	5	伊東咲友菜	〃	1	宇野心太郎	〃	2	佐藤 葵
〃	5	貞清 結菜	〃	1	冷川 愛奈	〃	2	山川 諒
〃	6	古賀 詩音	〃	1	後藤 環希	〃	2	石田 香織
〃	6	加藤 岬	〃	1	廣田 成竜	〃	2	河津なな美
〃	6	矢野 奏翔	〃	1	高瀬 裕斗	〃	2	綾 波音
大山小学校	5	木下 愛結	〃	1	岩崎 豊	〃	2	江田 愛結
〃	6	松長 穂佳	〃	1	林 和佳奈	〃	2	佐藤 悠陽
津江小学校	5	川津 杏菜	〃	1	森山 華帆	前津江中学校	1	梶原実花子
〃	6	呉屋える沙	〃	1	高倉 慧一	五馬中学校	1	小田 瑠菜

【小学生の部】

- 優秀賞／大分合同新聞社賞
伊東咲友菜 光岡小学校5年
「あいさつを通して生まれた 人とのつながり」
- 日田地区推進委員長賞
財津 凜心 光岡小学校5年
「幸せになる権利」

【中学生の部】

- 日田地区推進委員長賞
森山 華帆 東部中学校1年
「自分にできること」
- 日田地区推進委員長賞
梶原実花子 前津江中学校1年
「社会を明るくするための行動」